

鉄鎖を砕け

NO2

共産主義の自由同盟

日本共産党の機関紙

今秋、佐藤訪米阻止の方向へ、赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。

今秋佐藤訪米阻止の方向へ、赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。佐藤訪米阻止の方向へ、赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。佐藤訪米阻止の方向へ、赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。

赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。

二、赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ

赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。

赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。

赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。

赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。

赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。赤白共産主義の統一戦線の根拠地とせよ。

次頁へ続く

共産党と我々との攻防戦が大学まで広がって開始された。この間、もう一つの諸階級別の新民主主義統率の聖への再編成に於ける真の発展の向題であった。兵力の増強は、加ト共産党がロツワに於いて、甲斐共三の増強に斗争取捨の秩序回復一新なる攻撃による加ト共産党がロツワの解体と兵力への吸収であり、東大を突破口に全大学に攻撃を波及させ、反帝統一戦線の最大の戦力である甲斐連の増強であった。共産党の意図は、甲斐共三を暴力的に攻撃し、大学の支配権に共産党が浸透し、利用し、その出でたてて民主連同盟の具体化に動き出すことだったのである。

我々の斗いは、加ト共産党の小ブル的反帝階級を派スロツワと、その物質的根拠である巨大資本—文部官権—を以てに発生した共産主義の特权的教壇の指針した大学の帝国主義的支配の打撃を解体し、その打撃にロツワの同盟をつくり出し、それによって兵力と対峙し、大学を吾等斗争の甲人民的拠点—反帝統一戦線の「根拠地」にするべきことである。

加ト共産党の意図は、右者の向題を、東大斗争の最終的局面的噴き出しに引続き現在の攻防戦の中で、明らかにしなくてはならない。

△以下次頁へ続く△

共産主義者同盟機関紙

「戦旗」 161号、162号

- ・東大斗争報告、総括
- ・ソウイート論 4頁一部 30頁
- ・東大斗争総括、沖繩斗争
- ・共産主義青年同盟結成に向けて 2頁一部 20頁

尚賢館自習室迄
社会学同京大支部機関紙

「理論戦線」
斗争委員会での意志統一のために読もう。

※最終ページより続く

各別別の大塚での一時的撤退があった。全目的を戦線の発展によるこのリニエラればならない。又このリニエラれるのである。京大斗争の課題を在るは、まずもって斗いの真的根拠日本都府台占拠を達成し、その事によって京大斗争を二階に闘争の斗いの焦点に押し上げ、その拠点として確保し、東西の全ての学園斗争の部隊の集中的課題としてこのことである。

そのことを通して京大に立命—府医大—阪大—袖大—の斗争の団結を打ち取って行くことである。そして大学当局—日共—民青の反革命策動を粉碎し、兵力の弾圧と斗い、一時的戦術的撤退をも全東西の力をもつこのリニエ、三日入試阻止を斗い（阻止を徹底的に貫徹させたとしても）、4月入試をさせることである。これに至る間に、二月下旬—三月上旬の全四府頂泉の時期に、地区反戦を中心とする労働者の結合を獲得し、4月以降の安保斗争—全人民的政治斗争の昂揚に結節させ、安保斗争の全人民的拠点へと具体化する餌食から、占拠斗争を継続させることである。

以上を最右まで貫徹し、最尖端で斗い抜く武装行動を隊を組織しなければならぬ。その最中心部隊であり、同時に最も細心の意、献身的な、そして全人民的、戦略的意図性で武装した「社会学同」を断りとして建設しなければならぬ。それから前進の鍵なのだ。先進的学友は、社会学同に結集せよ。

「鉄鎖を砕け」二号目次

- I 70年安保斗争—全人民的政治斗争の展望
- (1) 10/21斗争総括
 - (2) 10/21以降の局面と東大斗争
 - (3) 東大斗争の真と現在の攻防戦
 - (4) 今秋佐藤訪米阻止に向けて獲得すべき運動の
 - (5) 70年代階級斗争—情
 - (6) 権力向題
- II 京大斗争の位置と任務
- (1) 帝国主義的文学団体—東大—京大—全日学園
 - (2) 全学学生運動を開始せよ
 - (3) 京大斗争の展望

米帝の朝鮮半島に於ける地位の重要性は、米帝の外交政策に於て、常に第一の考慮事項となつて居る。米帝は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。米帝の朝鮮半島に於ける利益は、米帝の外交政策の中心となつて居る。米帝は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。

④ 日清戦争の経緯

日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。米帝は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。清國は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。

日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。米帝は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。清國は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。

日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。米帝は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。清國は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。

日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。米帝は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。清國は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。

日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。米帝は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。清國は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。

日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。米帝は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。清國は、朝鮮半島に於ける其の利益を、如何に確保せんやと、常に苦心して居る。日清戦争は、朝鮮半島に於ける米帝の利益と、清國の利益とが衝突した結果として起つた。

